

千葉県多文化共生推進プラン策定懇談会（第3回）の開催結果概要

- 1 日 時 令和2年2月14日（金）14：30～16：30
- 2 場 所 千葉県庁 本庁舎5階 大会議室
- 3 出席委員 岩林委員、岡村委員、佐藤委員、豊島委員、新倉委員、東端委員、山浦委員、吉野委員

議題 千葉県多文化共生推進プランの原案について

事務局から、千葉県多文化共生推進プランの原案について説明した後、各委員から御意見をいただいた。各委員から出された意見の主なものは以下のとおり。

<プラン全体について>

- ・プロジェクトマネジメントについて、今後このプランをひな形に市町村がプランを作ることもあるので、モデルとなるような進め方をしていただきたい。また、全国6位の外国人の多い自治体であり、上位であるところの役割を意識して欲しい。
- ・プランを外国人県民の方々にも幅広く知っていただくために、何かシンボリックな施策やキャンペーン、キーメッセージ・キービジュアルなども、今後は考えていく必要があると思う。
- ・各事業の担当部門が明示されているが、各市町村がこのプランをモデルとする場合に、どの部局がリードしていくべきかという点について、非常に迷うと思われる。県からディレクションをしても良いのではないか。
- ・このプランについて、「地域社会の担い手」となる外国人県民の方々にも幅広く読んでいただく必要があるので、今後プランの多言語版の作成について検討していただきたい。
- ・行政情報の伝達について、今後ポータルサイトやSNSの活用等の新しい手法を考えていく必要があると思う。
- ・「主な事業」については、令和2年度の事業と明記するなど、将来への継続が期待される記載としてはどうか。
- ・医療・法律・教育・行政等の各専門分野で人材が足りていない。
- ・プラン策定の趣旨や施策目標等において、共有・連携等の対象に、千葉県国際交流センターを明記していただきたい。

<地域における日本語教育の充実に係る支援について>（28～29頁）

- ・「やさしい日本語を使用して」とあるが、日本語ができる方もいるので、「必要に応じて、やさしい日本語などを使用して」と変えた方が良いのではないか。
- ・「日本語を指導する日本語教室」とあるが、「日本語の学習を支援する日本語教室」ではないか。

<子どもの教育環境の整備について> (30～32 頁)

- ・就学の促進について、地域（地域の各区長、民生委員、児童委員等）との連携を図って情報を得られれば、学校側もフットワークよく動いて就学を進めることができると考える。子どもの支援をする民間団体が近隣に増えれば、学校との連携に関する取組も将来的に可能となるのではないかと考えている。
- ・子どもの教育環境整備について、初期指導だけではなく学習言語の習得に向けた長期的指導体制が充分でない点が課題となっている。教員への研修を含めた指導体制づくりについても留意して進めていただきたい。
- ・学校の中では見えない問題を地域のボランティア教室やNPOが把握している場合もあるので、連携が取れるようになるのが望ましい。
- ・「学校からのおたより」推進事業について、千葉県国際交流センターが作成したものであることが分かるよう書き方を工夫してほしい。

<医療環境の整備について> (34～35 頁)

- ・医療通訳について、医療現場では大きな課題となっているため、引き続き御検討をお願いしたい。
- ・外国人患者受入環境整備事業について、県だけではなく、現場の医療関係者と連携して進める事業と考えられるので、文言を修正してほしい。また、文末の「未収金トラブル等の発生を防ぎ～」とあるが、県民側の立場からは「円滑な受診を図る」旨の記載の方が良いのではないかと。
- ・感染症対策について、情報提供の場を作ることが重要。医師会を含め医療関係者とそれ以外の方々の連携づくりについても何か方向性を盛り込めると良いと思う。具体的な事例に応じた情報提供の仕組みづくりを検討して欲しい。
- ・来年の4月から、医賠償保険の付帯サービスにより無料で電話医療通訳を使えるようになるなど、利用可能な社会資源が急速に増えている。医療関係者、外国人県民、行政を含めた情報収集サイトの在り方について、国でも議論されているので、県も仕組みづくりについて検討して欲しい。
- ・新型コロナウイルスの流行と関連して、感染症対策について、何か県のプランで記載できないか。

<保健・福祉分野における支援について> (35～36 頁)

- ・外国人県民が保険給付手続等について必要とする具体的な情報が不足しているので、今後に向けて検討いただきたい。

<防災・防犯・交通安全対策の推進について> (37～38 頁)

- ・災害時の多言語対応は重要なので、今後県と市町村の支援体制をぜひ整えてもらいたい。